令和6年度　江戸川区立鎌田小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・かしこく　（か・・・知） ・まあるく　（ま・・・徳） ・たくましく　（た・・・体）　きらきら輝く　かまたの子		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	【学校像】・児童に確かな力を付けられる学校・地域や保護者に信頼される学校　・[チーム鎌田小]として活気のある学校・人とのかかわりを大切にした落ち着きと思いやりのある学校 【児童像】・きまりやマナーを守る子　・意欲的に取り組む子　・自分の考えを表現できる子　・素直で思いやりの心をもった子 【教師像】・児童の心を掴める教師　・向上心のある教師　・労を惜しまない教師　・組織人としての教師
前年度までの本校の現状	成果	・鎌田小学校を見守る地域や保護者の強力なバックアップがあり、落ち着いた学校生活を送ることができている。 ・学力向上に向けて、教員は積極的に校内研究や研修を行い、授業力向上に取り組んだ。	課題	・コロナ渦を経験した児童の体力不足、学力向上が課題である。 ・不登校児童対応。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○学力の向上	・1学年年間３５回以上補習教室 ・学期３回算数満点プロジェクト ・情報機器を活用した授業改善 ・教科担任制の ・校内研究の充実	・３５回１００％実施 ・プロジェクト合格者９０％以上 ・授業改善研修年６回 ・年度中に全学年実施	B	A	B	・校内研究では説明文に力を入れて実施した。児童の記述力も向上した。	B	・学校全体で取り組んでいる容子がうかがえた。	A	・学力調査では都の平均値に近づけることができた。	B	・学力が少しづく向上しているので来年度でも期待している。	・次年度、物語文に力を入れて校内研究に取り組み、公務分掌でも学力向上委員会を設置して日常的な学力向上に取り組む。
	○読書科の更なる充実	・年間指導計画による図書館を活用した学習の実施 ・図書担当が研修を行い、充実を図る。	・各学年１回読書科の取組を学校HPに発信 ・研修実施年２回９９％	B	B	B	・ボランティアとの連携し環境整備ができた。読み聞かせや校内研究による興味関心の視野の拡大ができた。	B	・今後もより使いやすい図書館に向けた整備の継続をおこなってほしい。	B	・読書科の時間を確実に行い読書指導を行うことができた。	B	・読書の時間を少しでも多く確保し、様々な種類の本を現代ほしい。	・東部図書館との連携をより密にする。読書ボランティア活動のHPによる周知の充実を図る。
体力の向上	○運動意欲や基礎体力の向上	・縦割り遊び、朝遊び実施	・各学年年間１０回	B	B	B	・たてわりグループの最初のレクレーションでは、年間の遊びの計画を立て、子供たちが主体的に取り組めた。	B	・他学年との触れ合いの時間があってよい。	B	・学年が上がるにつれ、下級生のお世話をする意識が高まった。	B	・引き続き学年交流の指導を行い、円滑な活動になっていってほしい。	・学年遊びや、たてわり遊びの行事を充実させ場の設定を確保する。
共生社会の実現に向けた教育の推進	○特別支援教育の推進	・かえで教室教員による研修会を行う。 ・授業の流れを明確にする。 ・板書の工夫	・年１回以上 ・めあてを確認する。	B	B	B	・支援を要する児童保護者に対して、理解を得ることができた。	B	・子供たちが特質に合った指導ができるよう特別支援に対する理解普及に努めてほしい。	B	・かえで教室での指導も充実し、家庭での理解も得られてきた。	B	・地域全体でも子供たちの様子を学校公開日や行事で見ていき、ボランティア活動も含めてかかわって行きたい	・今後も意見交換の場を設定し、子供の様子を見ていきたい。
不登校・いじめ対応	○子どもたちの健全育成に向けた取組	・生活指導主任を中心にhypaer-QUやアンケートを活用し予防と早期発見に努める。 ・道徳授業の充実を図る。 ・コーディネーターを中心に鹿本学園との交流を行う。	・年２回以上	B	B	B	・いじめアンケート等を実施し、学級で聞き取りも積極的に行い、いじめの早期発見、対応ができた	B	・担任の先生だけでなく家庭でも協力し、いじめがいけないことを伝えていく。	B	・解決しても、その後の様子を見ていき再発防止と継続したしどうを行った。	B	・地域からも児童の情報を良い意味で提供している。今後も継続していく。	・予防と早期発見対応ができるようアンケートや面談等で情報を得るようにする。また関係機関との連携も密にしていく。

心の充実														
学校（園）の実現 地域社会に開かれた	○自校（園）の取組の積極的な発信	・ホームページの随時公開 ・tetoru　の活用	・ホームページの閲覧回数を３０万回 ・tetoru登録率１００％	B	B	B	・ほぼ全委員がテトル登録できた。登録できていない保護者への理解を行っていく。	B	・ホームページからこまめな更新で学校の様子がよく伺える。	B	・プリントの配布を改め、テトル配信を中心とした情報提供ができてきた。	B	・保護者もHPを積極的に閲覧するようになった。テトル配信を充実していってほしい。	・テトル配信をうまく使って情報提供を行っていく。
	○学校関係者評価の充実	・年3回の評議員会の実施	・関係者評価での本校の取組と成果の評価B以上	B	B	B	・学校公開で行う評議員会では、児童の様子や地域情報が得られて運営等に大いに役立った。	B	・地域の人でも学校に貢献できる情報があったら提供していく。	B	・鎌田小まつり等地域行事に協力していただき無事にすべて終えることができた。	B	・今後も意見交換の場を設定し、子供の様子を見ていきたい。	学校評価の改善策についての意見交換の充実に努めできる範囲内で改善していく。
教育の展開 特色ある	○「学校における働き方改革プラン」に基づく取り組みの実施	・SSSによる作業依頼の充実 ・夕会や職員会議等の内容の精選 ・C3thの積極的な活用	・残務時間全教職員４５時間以内	B	B	B	・地域の方々の理解もあり、残務時間が４５時間を超えることがほぼなくなった。	B	・地域でも学校に協力できることは行っていく。	B	・教員の働き方改革の意識が高まり、月１回の定時退勤日では全員が定時に退勤できた。	B	・少しずつでも意識を高めていってもらい子供への関わりにうまくつなげていってほしい。	・働き方改革を進めながら、指導力向上への意識を高めていく。
	○地域、保護者、学校とともに歩む学校づくり	・金管鼓笛隊、和太鼓クラブの活動 ・特別活動、地域行事への参加	・年１回の発表、地域行事での発表	B	B	B	・金管鼓笛隊の人数も多く、指導が行き届かなくなる懸念がある。	B	・地域行事への参加を引き続き行っていってほしい。	B	・金管鼓笛隊を金管バンドへと移行し、質を高めていく。	B	・子供たちが様々なことに取り組めるよう機会を多くとってほしい。	・金管バンド指導が充実できるように組織全体で取り組んでいく。